



地域の概要及び課題

【資源】

- ・ 足摺宇和海国立公園
- ・ 多種多様な海洋生物と多様な海産物を使った郷土料理
- ・ 世界有数のダイビングスポットであり、シュノーケリングやクリアカヌーでも豊かな海中景観を楽しめる

【課題】

- ・ 磯焼けによる藻場の減少
- ・ 漁業資源の減少・漁獲物の変化
- ・ 漁業と海域環境の保全の両立

保全と活用の好循環形成に向けた将来ビジョン

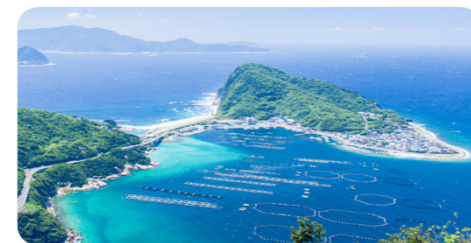
アオリイカオーナー制度等の継続による住民や漁業者の理解醸成や連携強化

食害生物駆除と母藻設置による藻場の保全再生

柏島の海への関心や愛着の醸成

郷土料理（ところてん等）づくり等のコンテンツの活用

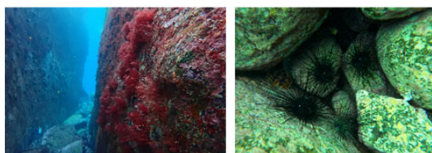
柏島
高知県幡多郡大月町



R5年度モデル事業における取組内容および成果

藻場再生活動の実施

- ・ 藻場の分布状況把握と再生活動

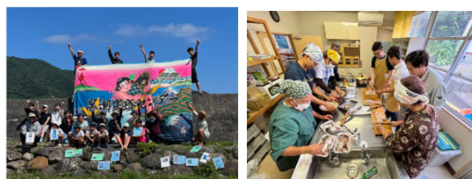


【成果】

藻場の分布状況等を把握し、再生活動としてスピアバックによる母藻の設置を行った。また、食害生物が多く確認された海域を対象に食害生物の駆除を定期的に実施した結果、海藻の広がりを確認することができた。

地域資源の活用検討

- ・ プログラム・コンテンツの開発

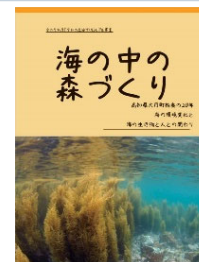


【成果】

柏島の海の魅力を体験・実感してもらうためのエコツアーを実施した。また、郷土料理を活用した新たなプログラムを開発するため、ワークショップを実施し、課題と対応策を検討した。

普及啓発ツールの作成

- ・ 柏島での里海づくりをまとめた冊子の作成



【成果】

里海教育読本として、出張授業等の教材としての活用も念頭に、生物多様性の宝庫である柏島の現在と過去を紹介するとともに、これまでの柏島での様々な里海づくりの取組等をまとめた冊子を作成した。

シンポジウムの開催

- ・ 都市と地方の交流を目的としたシンポジウムの開催



【成果】

都市の人々の里海づくりへの関心を醸成するために、都心部でシンポジウムと交流会を開催した。参加者は70名ほどとなり、取組を知ってもらうだけでなく、多くの意見を頂くことができた。

今後の課題および取組方針

- ・ 柏島の里海づくりのシンボルとして、テングサ、アオリイカ、シラスの3つを採用し、これらを中心に里海活動をより分かりやすく広げる。
- ・ 様々なネットワークや行政とも連携して活動が維持できる体制を構築する。
- ・ 里海を維持していくための人材育成を目指して、まずは海や海の生き物に興味を持ってもらい、好きになってもらうために、様々なコンテンツの開発・実施を行う。